



農業でがんばる女性たち

フィリピンからやってきた彼女たちは明るく、何を聞いても笑い声が返ってきました。大崎でも祖国でも、しっかり働きたいという思いがありました。

「ジェネリンさん」フィリピンに夫と13歳の息子、9歳の娘がいます。息子も日本で暮らしたいと言っています！

「フロリダさん」フィリピンではバイクに乗るのが大好きでした。貯金をして、フィリピンで小さなお店を始めたいです。

「シンディさん」実家は農家で、バナナやなすを育てています。旅行が好きで、インドネシアと台湾に行ったことがあります。

「ケネスリンさん」実はここにいるプリンセスサラとは小学校からの親友です。ずっと一緒です。みんなとバトミントンするのが好きです。

「プリンセスサラさん」カラオケが大好きです。家でお酒を飲みながら、みんなと一緒に歌っています。犬が大好きなので、貯金をして、フィリピンでペットフードを扱う小さな商売を始めたいです。

「エリカさん」旅行が好きで、京都と大阪に行きました。京都にはもう一度行きたい！

「ヘイゼルジェーンさん」私はサーフィンが大好き！前回日本に来たとき貯めたお金で、フィリピンの美しい山間に土地を買いました。今回貯めるお金で、そこにバリにあるようなロッジを建ててホテルを始めたいと考えています。

「プリンセスサラさん」カラオケが大好きです。家でお酒を飲みながら、みんなと一緒に歌っています。犬が大好きなので、貯金をして、フィリピンでペットフードを扱う小さな商売を始めたいです。

日本に来て最初の1年間は静岡でホストファミリーと暮らしました。最初は、カルチャーショックというのか、何をしたら良いのか本当に分からなかった。言葉もチンプンカンプン、食べ物も慣れない、雰囲気も違う。お寿司が食べられない私に、ホストファミリーのお父さんは「プルさん、寿司を食べに行こう！」と言いい、連れて行ってくれました。最初は茹でてある海老を食べました。次は卵。少しずつ食べられるものが増えました。日本語学校の宿題もお父さんが見てくれました。ホスト

日本人と付き合うには 信頼関係が一番大事です

ホストファミリーと信頼関係を築くことができた私はラッキーです。日本人と付き合うには信頼関係が一番大事です。お父さんは私を信じています。私はお父さんを信じています。喧嘩したり、笑ったり、泣いたり、信頼関係があれば当たり前。嘘はダメ。私も1度間違えたことがあります。その時は「ごめんなさい」と言いました。お父さんは「日本人として心が痛い」と言いました。それは軍人である実の父にも言われたことでした。「あなたがもし間違えたら、それを言うてください。軍人のようにあなたにはあなたの責任があります」日本に来て、父の言っていた「責任」の意味が分かりました。



プルナマワティ
Purnamawatiさん

愛称プルさん。インドネシア、ジャカルタ出身。来日して20年、大崎に住んで12年になります。日系人についての研究者。大崎のリサイクル技術をインドネシアに伝えるJICA事業に取り組んでいます。またごみの分別を通じて、外国人たちが地域の人々と信頼関係をつくれるように活動しています。

この記事の物語についてもっと知りたい方はぜひ展示をご覧ください！
展示 「世界に友達を」
2月20日(月)～3月3日(金)の平日 8:30～17:15
場所: 大崎町役場本庁舎1階ロビー